TOSHIBA
Leading Innovation

取扱説明書

東芝テレビ用
スタンド

形名
FPT-TS210

：：必ず最初に「安全上のご注意」3 をご覧ください。

●このたびは東芝テレビ用スタンドをお買い上げいただき、ありがとうございます。
このスタンドは東芝テレビ専用です。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
この取扱説明書で使用しているテレビのイラストは、見やすくするために誇張、省略しており、実際とは多少異なります。

■テレビを使用するお客様へ

ご使用の前に、この取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

■取り付け作業をされるかたへ

取り付けの前に、このスタンド取扱説明書をよく読み、正しく取り付けてください。
取り付け作業は必ず二人以上で行なってください。
取り付けが終わったあとは、正しく・安全に取り付け工事が完了したことを確認・点検し、このスタンド取扱説明書をお客様にお渡しください。

安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表　示	表示の意味
⚠警告	“取り扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷＊1を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取り扱いを誤った場合、人が軽傷＊2を負うことが想定されるか、または物的損害＊3の発生が想定されること”を示します。

＊１：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症があるもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
＊２：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の例】

図記号	図記号の意味
 禁　止	“⃠”は、**禁止（してはいけないこと）**を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指　示	“●”は、**指示する行為の強制（必ずすること）**を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注　意	“△”は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■免責事項について

- 火災、地震などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない機器との組合せによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取り付け不備によって発生した損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

安全上のご注意 つづき

◆テレビを使用するお客様へ

⚠警告

■時々取り付け状況を点検し、ネジのゆるみなどによる傾き・ぐらつきなどの異常がないか確認する

異常のまま使用すると、テレビが落下し、けがやテレビ・床などの破損の原因となります。
異常の場合は、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。


指　示

■スタンドの修理・分解・改造はしない

テレビが落下し、けがやテレビ・床などの破損の原因となります。
修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。


分解禁止

■電源コードや配線類をテレビやスタンドではさみこまない

電源コードに傷がつき、火災・感電の原因となります。


禁　止

■テレビをコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。


指　示

■テレビを屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には置かない

火災・感電の原因となります。


風呂、シャワー
室での使用禁止

■テレビをぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない

テレビが落ちて、けがの原因となります。
水平で安定したところに据え付けてください。
テレビ台を使用するときは、その取扱説明書もよくお読みください。


禁　止

■テレビを振動のある場所に置かない

振動でテレビが移動・転倒し、けがの原因となります。


禁　止

■テレビの転倒・落下防止の処置をする

転倒・落下防止の処置をしないと、テレビの転倒・落下によってけがなどの危害が大きくなります。
転倒防止のしかたは10をご覧ください。


指　示

◆取り付け・設置作業をされるかたへ

⚠警告

■テレビの設置時は、二人以上で、安全を確認しながら実施する
無理な作業をすると、テレビが落下し、けがやテレビ・床などの破損の原因となります。


指　示

■テレビやスタンドの修理・分解・改造はしない
テレビ内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。
テレビが落下し、けがやテレビ・床などの破損の原因となります。
点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。


分解禁止

■テレビを振動のある場所に設置しない
振動でテレビが落下し、けがの原因となります。


禁　止

■東芝テレビ専用です。対応するテレビ以外や他の用途には使用しない
けがや事故の原因となります。


禁　止

■スタンドは付属のネジでテレビに確実に取り付ける
取り付けが不完全だとテレビが落下し、けがやテレビ・床などの破損の原因となります。
ほかのネジを使うと正しく取り付けられなかったり、テレビのネジ穴を破損したりする原因となります。


指　示

■テレビはコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する
万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。


指　示

■テレビを屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には置かない
火災・感電の原因となります。


風呂、シャワー
室での使用禁止

■テレビをぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない
テレビが落ちて、けがの原因となります。
水平で安定したところに据え付けてください。
テレビ台を使用するときは、その取扱説明書もよくお読みください。


禁　止

■テレビの転倒・落下防止の処置をする
転倒・落下防止の処置をしないと、テレビの転倒・落下によってけがなどの危害が大きくなります。
転倒防止のしかたは10をご覧ください。


指　示

安全上のご注意 つづき

◆取り付け・設置作業をされるかたへ つづき

⚠警告

■電源コードや配線類をテレビやスタンドではさみこまない

電源コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。



■テレビの設置が完了したら、長期間耐えられるか点検する

取り付けが不完全だとテレビが落下し、けがやテレビ・床などの破損の原因となります。



⚠注意

■テレビの通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- テレビ本体の上下左右は10cm以上の間隔をあけてください。
- テレビを風通しの悪い所に設置しないでください。
- テレビをカーテンなどがかかる場所に設置しないでください。



■スタンドをテレビに取り付け・取りはずすときに手を挟まない

けがの原因となることがあります。



■テレビを温度の高い場所に設置しない

直射日光の当たる場所、ストーブやエアコン吹出口のそばなど、温度の高い場所に設置すると、火災の原因となることがあります。

また、キャビネットの変形や画面の変色・破損、その他部品の劣化や破損によって感電の原因となることがあります。



■テレビを湿気・油煙・ほこりの多い場所に設置しない

テレビを加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに設置すると、火災・感電の原因となることがあります。



■テレビを温度の高い場所に置かない

直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置くと火災の原因となることがあります。

また、キャビネットの変形や破損などによって、感電の原因となることがあります。



■ テレビの通風孔をふさがない



通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- テレビを壁に押しつけないでください。(10cm以上の間隔を空ける)
- テレビを押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まないでください。
- テレビをテーブルクロス・カーテンなどをかけたりしないでください。
- テレビをじゅうたんや布団の上に置かないでください。
- テレビをあお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

■ テレビを湿気・油煙・ホコリの多い場所に置かない



加湿器・調理台のそばや、ホコリの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

■ テレビを移動したり持ち運んだりする場合は、



- 包装箱から出すとき、持ち運ぶときは、2人以上で取り扱う
  ひとりで取り扱うと、身体を痛めたり、テレビを落としてけがをしたりする原因となることがあります。
- 離れた場所に移動するときは電源プラグ・アンテナ線・機器との接続線および転倒防止をはずす
  はずさないまま移動すると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となったり、テレビが転倒してけがの原因となったりすることがあります。
- 車(キャスター)付きのテレビ台に設置している場合、移動させるときは、キャスターの固定を解除し、テレビを支えながら、テレビ台を押す
  テレビを押したり、テレビを支えていなかったりすると、テレビが落下してけがの原因となることがあります。
- 衝撃を与えないように、ていねいに取り扱う
  テレビが破損してけがの原因となることがあります。

■ テレビを車(キャスター)付きのテレビ台に設置する場合は、キャスターが動かないように固定する



固定しないとテレビ台が動き、けがの原因となることがあります。
畳やじゅうたんなど柔らかい物の上に置くときは、キャスターをはずしてください。キャスターをはずさないと、揺れたり、傾いたりして倒れることがあります。

スタンドをテレビに取り付ける

⚠注意	■ 二人以上で作業する ひとりで作業をすると、身体を痛めたり、けがをしたりする原因になります。

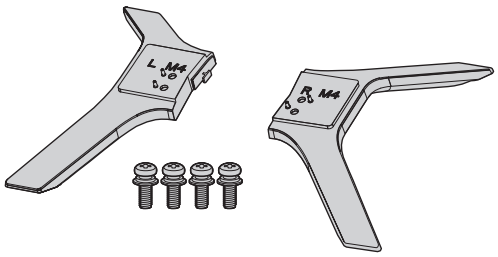
● テレビのイラストは43HL210Xです。50HL210Xはイメージが多少異なります。

お願い

● スタンドを取り付けるまでの間、テレビ本体は包装箱の中で立てた状態にしておいてください。倒した状態で置くと、誤ってテレビの上に物を落としたときなどに、破損するおそれがあります。
● プラスドライバー（JIS 2番、直径6mm）をご用意ください。
※ テレビについている保護フィルムは、テレビの設置作業が終わってから取りはずすようにしてください。（図では省略しています）

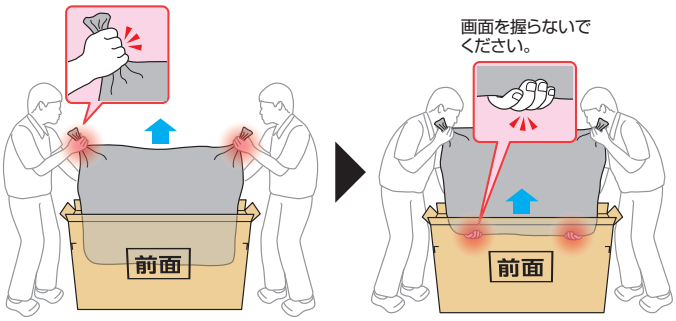
1 スタンド組立用部品を確認する

● 以下の部品がそろっているか、ご確認ください。
ネジ×４



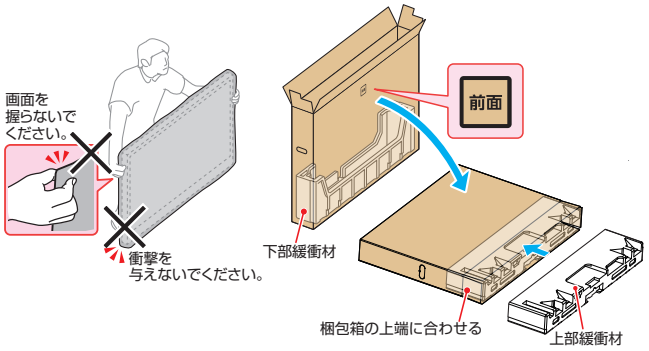
2 テレビ本体を包装箱から取り出す

● 袋を持ってテレビ本体を箱から取り出してください。
● テレビ本体の背面側をもう片方の手で支えてください。
● 画面を強く握らないでください。



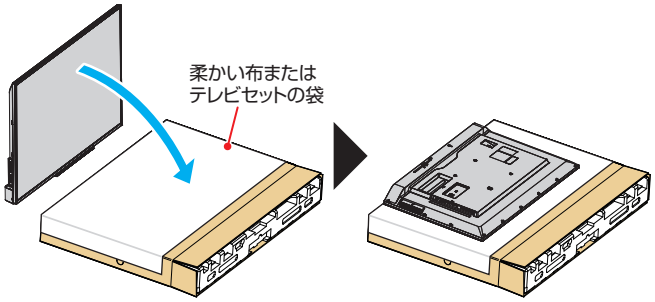
3 簡易テーブルを作成する

● 下部緩衝材が包装箱の奥にセットされていることを確認してください。
● 上部緩衝材を包装箱にセットします。
● 柔らかい布を敷いてください。
● 一人はテレビセットを支え、もう一人は簡易テーブルを作成してください。



4 テレビ本体を簡易テーブルにのせる

❶ 画面を指で強く押さないように注意しながら、テレビ本体を袋から取り出してください。
❷ 必ずテレビ本体の背面側を上向きにして簡易テーブルの上にのせてください。
❸ テレビ本体と包装箱の下端を合わせます。



お知らせ

● 電動ドライバーをご使用の場合、トルクはおよそ1.0N・m（10kgf・cm）に設定してください。

5 テレビにスタンドを取り付けてネジ4個で固定する

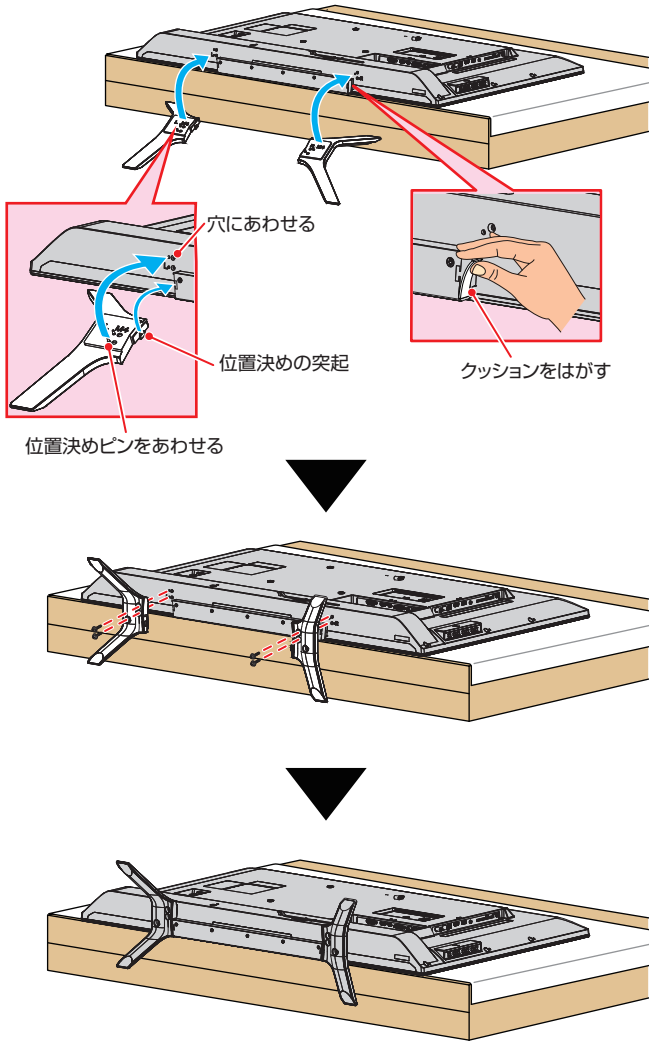
❶ テレビ本体からクッション(2枚)をはがしてください。

❷ スタンドの突起をテレビの穴に差し込みます。

※ ネジを斜めに締めると、ネジ山が破損するおそれがあります。

お願い

スタンドを取り付ける前にクッションをはがしてください

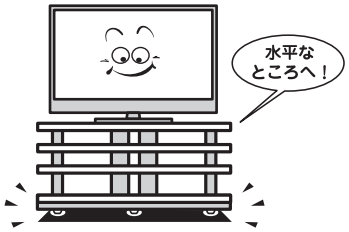


テレビを設置する

● 設置の前に「安全上のご注意」3 ～ 7 とテレビの取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みください。

正しい置きかた

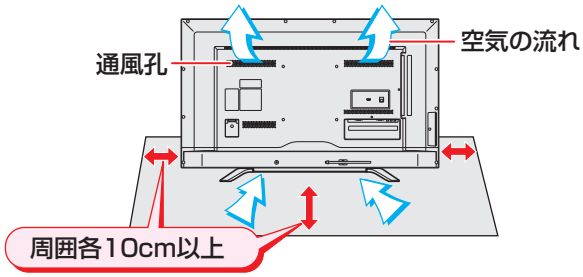
■丈夫で水平な安定した所に設置してください



■周囲からはなして置いてください

● テレビの通風孔をふさがないようにテレビの上および周囲に10cm以上の空間を設けてください。

● テレビのイラストは43HL210Xです。他の機種はイメージが多少異なります。



■テレビ台を使用する場合

● テレビ台の取扱説明書をご覧ください。

転倒・落下防止のしかた

● 転倒・落下防止器具を取り付ける台や壁の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。以下に記載した転倒・落下防止のしかたは、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

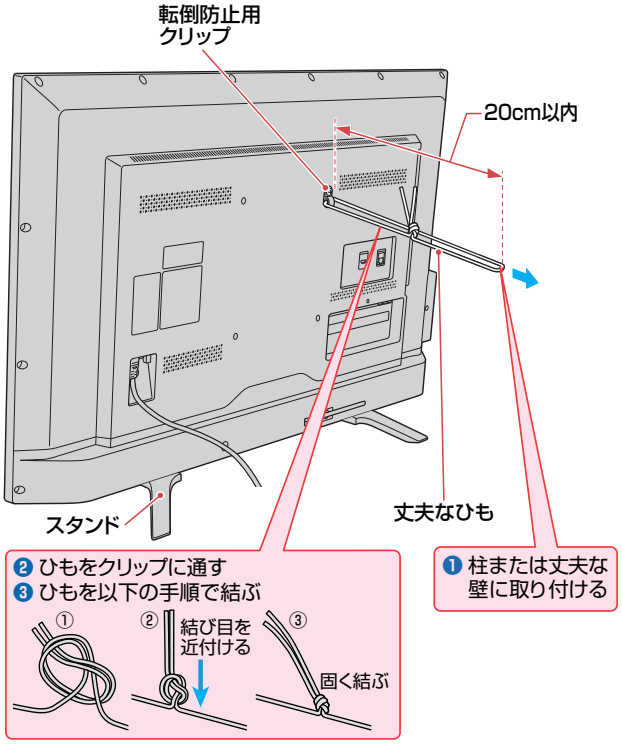
※ 固定後は、テレビを押したり、持ち上げたりしないでください。破損の原因になります。

壁または柱などに固定するとき

● テレビ背面の転倒防止用クリップを使用し、確実に支持できる壁または柱などを選び、丈夫なひもで固定します。

● 壁または柱との固定はテレビ背面の転倒防止用クリップと同じくらいの高さの場所に取り付けます。

※ 針金や鎖など金属製のものは、瞬間的な衝撃に対する柔軟性が乏しく、本機や柱などの取付部分が破損する原因になりますので使用しないでください。

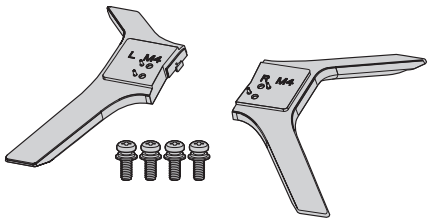


お願い

● 他のデジタル機器や電子レンジなどから出る電磁波によって、テレビの映像が乱れたり、雑音が出たりする場合があります。相互に影響しない位置に設置してください。

部品表

● 本機には以下の部品があります。お確かめください。

名称	数量
スタンド、ネジ ● テレビ本体に取り付けます。<9> 	1 式 (ネジ 4 本※)

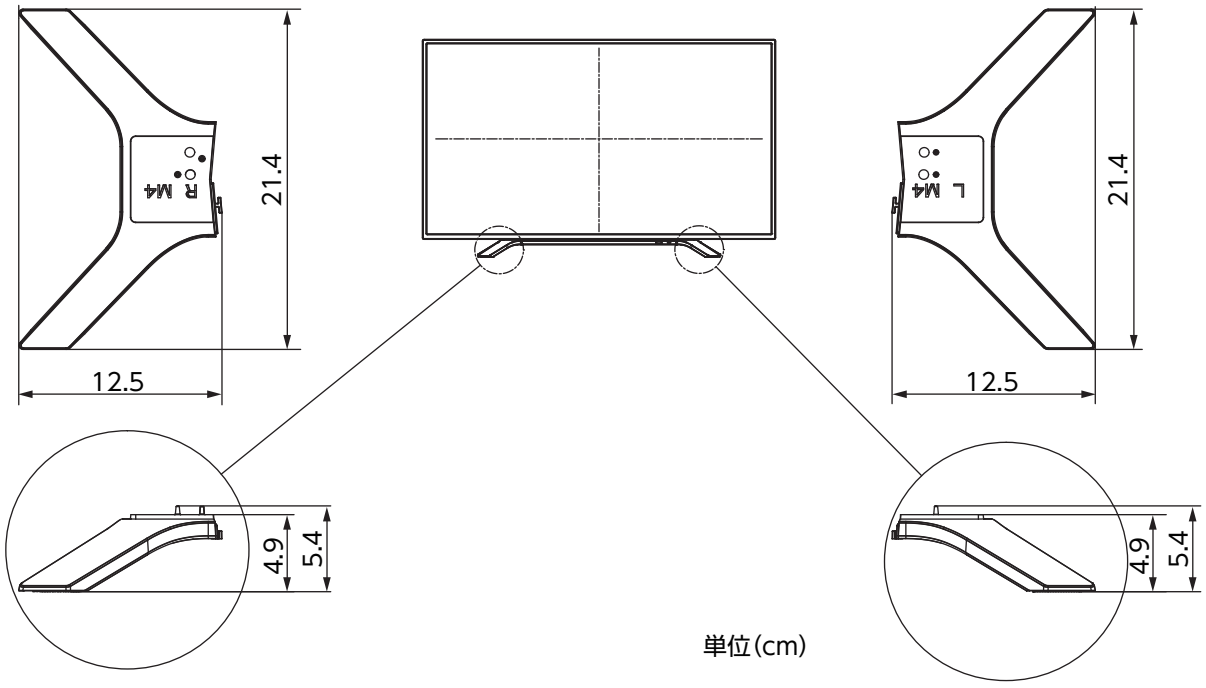
※ 部品紛失の際は弊社部品をお求めください。

付属品/名称	付属数
取扱説明書(本書)	1 部

仕様

形名：　FPT-TS210
外形寸法：(幅)　12.5 cm
(奥行き) 21.4 cm
(高さ)　5.4 cm (4.9 cm：突起部除く)
質量：　(本体一式) 0.6 kg

製品改良のため、外観・形状は予告なく変更することがあります。



単位(cm)

修理・お取り扱いについてご不明な点は

お買い上げの販売店にご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、以下の窓口にご相談ください。

「東芝テレビご相談センター」

【一般回線・PHSからのご利用は】(通話料：無料)

フリーダイヤル 0120-97(クナン)-9674(クローナシ)

●IP電話などでフリーダイヤルサービスを
ご利用になれない場合は、
03-6830-1048 (通話料：有料)

【携帯電話からのご利用は】(通話料：有料)

ナビダイヤル 0570-05-5100

【FAXからのご利用は】(通信料：有料)

03-3258-0470

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する株式会社東芝を含む東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

東芝映像ソリューション株式会社

〒210−8543　神奈川県川崎市川崎区駅前本町25−1

※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

©TOSHIBA VISUAL SOLUTIONS CORPORATION 2017